

「市政モニターアンケート」の概要

1. 経緯

新総合計画策定にあたり、本市を取り巻く社会状況の変化等を踏まえて、市民の意見を反映させること、また、今後の市政運営の参考資料とすることを目的として、市政モニター200名に対して、主に現在の基本構想についてのアンケートを実施した。

2. 実施概要

(1) 調査期間

平成22年2月12日(金)～平成22年2月26日(金)

(2) 提出方法

郵送、WEBによる回答

3. 結果概要

(1) 有効回収数 187人 (回答率 94.4%)

(2) モニターの属性

①性別

項目	合計
男性	43%
女性	56%
無回答	1%
合計	100%

②居住

項目	割合
青葉区	27%
宮城野区	18%
若林区	13%
太白区	21%
泉区	21%
合計	100%

③年齢

項目	割合
20-29歳	12%
30-39歳	23%
40-49歳	16%
50-59歳	18%
60-69歳	19%
70歳以上	11%
無回答	1%
合計	100%

(3) アンケートの主な質問項目と回答

質問項目	肯定的回答	否定的回答	無回答
①「やすらぐまち」に近づいているか	66.9%	32.6%	0.5%
②「うるおう杜」に近づいているか	66.3%	32.6%	1.1%
③「にぎわう都」に近づいているか	62.0%	36.4%	1.6%
④「かがやく人」に近づいているか	74.9%	23.6%	1.5%
⑤「やすらぐまち」が目指すべき姿として適切か	87.2%	11.7%	1.1%
⑥「うるおう杜」が目指すべき姿として適切か	86.1%	12.3%	1.6%
⑦「にぎわう都」が目指すべき姿として適切か	79.1%	19.2%	1.7%
⑧「かがやく人」が目指すべき姿として適切か	84.0%	13.9%	2.1%

4. 各テーマに関する意見

- ① 「やすらぐまち」に近づいているか 防災対策については、広報活動の充実により市民意識が高まっているという意見が多く、安全・安心のまちづくりについては概ね高評価をいただいている一方、子育て環境（待機児童問題、児童館、子どもが学び・遊ぶ施設等）整備が不十分で、安心して子育てできる環境整備がなされていないという意見が多く寄せられている。
- ② 「うるおう杜」に近づいているか ゴミ袋有料化、リサイクル等、循環型社会形成に向けた取り組みは先進的であるとの評価が多く、また、緑の保全にも力を入れており、杜の都と呼ぶにふさわしい活動が進められていると評価されている一方で、中心市街地の緑については、都市開発に伴い減少しているとの印象があり、域外から来た人が見たときに「杜の都」と呼ぶにふさわしいかという点について疑問があるという意見も寄せられている。
- ③ 「にぎわう都」に近づいているか 産業への評価は概ね低評価である。昨今の不況の影響により雇用機会が失われていること、中心市街地に空き店舗が散見され、中心市街地に空洞化が見られることなどの意見が寄せられている。観光および海外との交流については、外国人は多くなったものの市民レベルでの交流が見られず、また、外国人を呼び込むための要となる観光スポットがないとの意見が寄せられている。
- ④ 「かがやく人」に近づいているか 文化・スポーツ面においてはイベントも多く、市民参加も増加傾向にあるため、活性化が図られているとの評価をいただいている。一方、学都について、学都としてのイメージはあるものの、その研究成果が地域へ還元されていないという認識が強い。
- ⑤ 「やすらぐまち」が目指すべき姿として適切であるか やすらぐまち（住みよいまち）を作っていくことは都市像の基本であるとの意見が多数を占めているが、具体的施策に関する要望等は少なく、むしろ一人一人の市民が何かをすべきであるという意見が散見された。
- ⑥ 「うるおう杜」が目指すべき姿として適切であるか 環境保全、景観の保全は「やすらぐまち」（子育て等のしやすさ）にも繋がるため、継続して目指していくべきであるとの意見が多く寄せられた。
- ⑦ 「にぎわう都」が目指すべき姿として適切であるか 東北の中核となるべく希望する声が多く、そのためには公共交通体系の整備が重要であるという意見が多く寄せられている一方、海外との交流については、地域産業・雇用安定の土台があつてすべきであるという意見が見られた。
- ⑧ 「かがやく人」が目指すべき姿として適切であるか 本市は研究教育都市を目指すべきであり、若者が住みやすいまちづくり、人材の流出を防ぐ手立てが必要であるとの意見が見られた。

5. 総括と今後の取扱い

20代～40代のモニターを中心に、次世代を担う子どもたちの教育環境に対する不満の声が多く寄せられるとともに、経済環境について雇用環境の悪化や中心市街地の空洞化を懸念する声が多く寄せられた。

全体的なキーワードとして施策の効果の「実感」が感じられないという声が寄せられており、基本構想・基本計画策定段階およびその実施段階における市民参画や広報活動の充実が必要であると思われる。

本アンケートに寄せられた具体的な意見については、庁内にて情報を共有し、実施計画策定の際に参考としていく。